

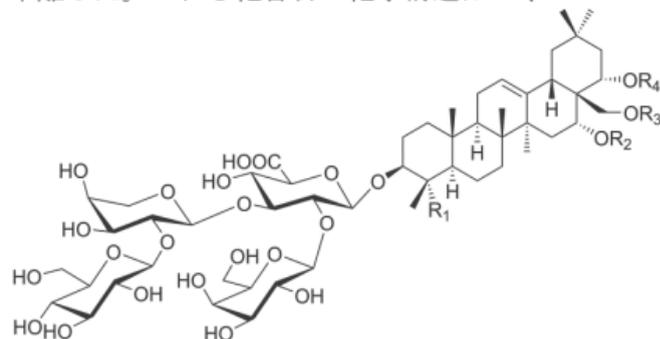
# 26Q-am09S

## 椿油粕のトリテルペノイドサポニン成分研究

○上村 俊介<sup>1</sup>, 李 巍<sup>1</sup>, 劉 慶博<sup>1</sup>, 鈴木 敏江<sup>2</sup>, 小池 一男<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東邦大薬, <sup>2</sup>大島椿)

【目的】ツバキ科植物椿 (*Camellia japonica*) の種子から得られる椿油は食用あるいは化粧品に用いられるが、油粕は肥料としてしか使用されていない。我々は未利用薬用植物資源の化学的研究の一環として、椿油粕の成分研究を行い、既に 12 種のフラボノイド配糖体成分について報告した。今回、椿油粕のトリテルペノイドサポニンの単離および構造決定について報告する。

【方法・結果】五島産の椿種子から得られた油粕を熱水抽出し、得られた水抽出液を Diaion HP-20 カラムで処理し、メタノール溶出した。メタノール溶出画分を更にシリカゲル、ODS カラムクロマトグラフィーおよび HPLC を用いて分離・精製を行った結果、新規化合物 4 種 (**2, 5-7**) を含む 8 種のトリテルペノイドサポニンを単離した。これら化合物の化学構造は MS、NMR スペクトル解析により決定した。



	R <sub>1</sub>	R <sub>2</sub>	R <sub>3</sub>	R <sub>4</sub>
<b>1</b>	CHO	H	H	tigloyl
<b>2</b>	CHO	tigloyl	H	H
<b>3</b>	CHO	H	H	H
<b>4</b>	CH <sub>2</sub> OH	H	H	tigloyl
<b>5</b>	CH <sub>2</sub> OH	tigloyl	H	H
<b>6</b>	CH <sub>2</sub> OH	H	tigloyl	H
<b>7</b>	CH <sub>2</sub> OH	2-MB	H	H
<b>8</b>	CH <sub>3</sub>	H	H	tigloyl

2-MB=2-methylbutyryl